

現在ある薬は「重症化リスクを下げる薬」と「症状を少し早く収める薬」のみです。従って 医療機関も やみくもに患者さんに薬を勧めているわけではありませぬ。必要な人に必要な治療をとということですから、ここは 是非慎重に検討して貰いたいものです。更に、国にも もう少し臨機応変に対応していただきたい。流行している時期や、重症化リスクの高い人には、検査や治療薬などの補助が出来るような、小回りの利く政策をしていただきたいものです。

10月から新たなワクチン接種 高齢者らは積極的に検討を

10月から、新たなワクチン接種が始まります。65歳以上の高齢者と60～64歳の持病を抱える人の負担額は7,000円程度、任意の方は15,000円程度となる見込みです。明石市在住の65歳以上の高齢者には3000円で接種が可能・インフルエンザは負担なしで接種可能です。コロナウイルスはどんどん進化しており、今回の「KP.3」のように、これまでの免疫を回避するものも出現してきています。高齢者や重症化の心配がある方は接種を積極的に考えて貰いたい。

今やコロナを風邪と同じだと考えている人も多いと思われませんが、コロナで亡くなる人は、決して少なくありません。流行が始まった20年～23年に5類に移行するまでの約3年半の総死亡者数は死亡診断書の情報を用いた人口動態統計によると約89,000人。5類移行後の7カ月間でも16,000人以上が亡くなっています。高齢者を中心に既に10万人以上が亡くなっている感染症です。そして現在でも、多い月には4000人以上が亡くなっているのです。

今や国や社会は守ってくれません。高齢者や持病のある方は、自分自身で感染症罹患から守って下さい。そして若い方・健康な方は、自身が感染源にならないよう注意して貰いたいものです。

天災は 忘れる前に やって来る

難しや 適度に恐れず 恐れよと

令和6年 南海トラフ

